

第七十五実朝忌俳句大会ご参加の皆様へ

第七十五回実朝忌俳句大会の事前投句の部は五百句を超える応募をいただきました。ここ三年間で一番多い投句数となり、皆様のご参加に感謝いたします。コロナ禍に見舞われた三年間でしたが、皆様の俳句に対する思いはゆるぐことなく更に一層強くなっているように感じております。

ここに、寄せられた五百四十八句に対し四名の選者の先生方の選句による入賞句及び特選句が決定しましたので、ご覧ください。

尚、次回の第七十六回実朝忌俳句大会は令和六年三月三日（日）を予定しております。

引き続きいての皆様のご健吟、ご健勝をお祈り申し上げますとともに、今後とも実朝忌俳句大会を宜しくお願い申し上げます。

令和五年三月吉日

一般社団法人鎌倉同人会 理事長 富岡幸一郎
俳句担当理事 加藤 文男

第七十五回実朝忌俳句大会特選句 事前投句の部

令和五年三月吉日

選者	作品	住所	氏名
星野 椿	ゆるゆると春立ちにけり由比ヶ浜	埼玉県	増田 信雄
々	虚子の墓所二基は童女やつくしんぼ	鎌倉市	戸井田朋子
々	実朝忌ふり返るたび海碧く	鎌倉市	長谷川楨子
松尾 隆信	鎌倉彫の椿は未完実朝忌	東京都	門 未知子
々	蒼穹の鼓動となりし揚雲雀	東京都	曾根新五郎
々	この海のこの怒濤こそ実朝忌	逗子市	一柳 はるみ
宮坂 静生	実朝の海は鶺鴒色初電車	平塚市	中丸しげこ
々	右府の忌の茜雲より光の矢	東京都	松木 昌子
々	戦ひに得るものはなし実朝忌	岡山県	池田 純子
安田のぶ子	鎌倉の抜け道初音こぼれけり	東京都	大久保 昇
々	春潮の光の踊る実朝忌	鎌倉市	添田 洋子
々	スカジャンの似合う少年実朝忌	山梨県	野中 定代